



成田ロータリークラブ

ロータリー：
変化をもたらす

週 報



国際ロータリー2017～18年度会長 イアンH. S. ライズリー

第 2763 回例会 平成 29 年 9 月 8 日(金)

- ◇ 点 鐘 成田 温 会長
- ◇ ロータリーソング 奉仕の理想
- ◇ 四つのテスト 大橋 創一 会員
- ◇ お客様紹介 東京企画装飾 (株)
和田 様、水嶋 様
- ◇ ニコニコボックス



設楽 正行 会員： ニコニコをする前に、今ご紹介のあったお2人について紹介させていただきます。ちょうど20年前、平山さんがガバナーであった時に成田国際文化会館にて地区大会が行われました。そして、そのあと懇親会が成田ビューホテルで行われましたが、文化会館の中での舞台の様々な装飾を手掛けていただきました。この度、次々年度が諸岡ガバナーということで営業に参られたということですので、まだ何も決まっておりませんがよろしく願いいたします。

さて、ニコニコですが、私、某大学を出て今年でちょうど50周年となります。そして、当時大学のクラスには60名いまして、そのうちの3名が女性でした。そのうちの1人から突如、今週の初めに電話がありまして「成田に行くから会いたいんだけど」という話で50年ぶりに会いました。お互いに学生時代と変わらないねと言ったのですが、50年経つとかなり風雪でいたんでおりまして、お腹の中ではまあまあそういうことにしておこうということでございましたけれども、50年ぶりにさまざまな思い出話に花が咲きましたのでニコニコさせていただきます。ありがとうございました。



諸岡 靖彦 会員： 8月4日成田クラブから始まりました、第9分区への寺嶋ガバナーの公式訪問例会が、9月6日の八街、富里2クラブ合同例会をもって終了しました。私のガバナー補佐としての最初の区切りとなりました。

また、2年後のガバナー年度に向けて、ロータリーのさまざまなプログラムに顔を出しています。最近では9月2日に、東京・神田の学士会館で開催された<ロータリー平和フェロー第16期オリエンテーション>に参加しました。国際ロータリーはロータリー財団と一つになって、世界的な規模の人道的奉仕として「平和と紛争予防／紛争解決」に取り組んでいます。財団が世界の名門大学と提携して設立されたロータリー平和センターで、国際問題、平和、紛争解決を研究する修士レベルの研究生(平和フェロー)に奨学金を与え支援します。日本では、国際基督教大学に

ロータリー平和センターがあります。今期、国際基督教大学に世界から9名の留学生が集まりました。研究生（平和フェロー）は、自国と財団の双方に貢献出来る親善使節として活躍することが期待されています。今回の16期生の平和フェローのうち2名を当2790地区でお預かりして、2名のロータリアンがホスト地区カウンセラーとしてフェローのお世話をします。千葉クラブの清田浩義会員と松戸中央クラブの小熊祐子会員がカウンセラーに指名され、スリランカ出身の39歳男性とオーストラリア出身の31歳女性のフェローをそれぞれ担当します。平和フェローは学業第一ですが、受入クラブの奉仕活動、地元の、あるいは全国的、国際的なロータリーの行事に参加するよう推奨されています。国連の難民高等弁務官として、冷戦後の世界の難民の人道事業に活躍された緒方貞子さんは、大学卒業の年1951年にロータリーフェローとしてアメリカ・ジョージタウン大学の大学院に留学して、平和研究でマスターを取得したという経歴の持ち主です。ロータリーの、世界に対する平和貢献の一端に触れることが出来ました。



神崎 誠 会員： 9月2日にこちら成田ビューホテルで、成田高等学校附属中学校4回生という卒業生の同級会を開きまして、土井さんが筆頭幹事で、夜遅くまでゆっくり楽しませていただきました。今、多古ロータリークラブの2回目の会長をやっていて、設楽さんの後輩にもなります飯田武之君も遅くまでゆっくり飲んでいたので、思い出しましたので、土井さんもニコニコすると思いますけれどもよろしくお願いたします。



土井 豊彦 会員： 今、神崎さんからお話がありましたが、9月2日に附属中学校の同窓会をやりました。私、幹事を務めて10年くらいになります。それまで同窓会というのはあまりやっていたようすけれども、これを機に毎年やるようになりまして、いまだに幹事を務めさせていただいております。ニコニコさせていただきます。



成田 温 会長： 先週、会社統合の話をしたと思いますけれども、それから一週間が経ちました。今まで会社に行くと20数名いたのが、今は3、4人ということで、慣れるまでにはまだしばらくかかるかなと思います。ただ、一週間が経ちまして、細かいことはいろいろありますけれども、たいしたこともなく順調に推移していますのでニコニコしたいと思います。ありがとうございます。



平山 秀樹 会員： 2つございます。まず、ガバナーの公式訪問が終わったということで、補佐としましては大変ありがたいなと思っております。完全には同行できなかったことを反省しております。それと、私は千葉県経済同友会に参加させていただいてお

りまして、先週、JALさんのビジネスクラスでギリシャへ同友会の視察に行かせていただきました。飛行機は大変快適でした。千葉銀行の頭取であります佐久間代表幹事を始め、錚々たる方々の末席に加えていただきました。ギリシャの歴史の根源を辿る旅ということで、クレタのミノソスからミケーネ、そしてアテネのアクロポリス等見させていただきました。建設業者として気付きましたのは、例えばミノソスは四千年近く前の部屋が千もある宮殿なのですが、上下水道がきちんと完備しておりました。下水、衛生設備、つまりは、土木は「シビルエンジニアリング(Civil Engineering)」といいます。「シビライゼーション(Civilization)」とは文明ですので、やはり文明の基礎は土木工事にあったのかなと建設業者としましては思わせていただきました。1週間たっぷりギリシャを見させていただきました。失業率は28%、若年層に至っては50%近くだとか、大変経済的には混乱をしております。誇るべき文化があっても民族、国でも、現代に生きる人々がしっくりしないと大変なことになると実感させていただきました。



◇ 会長挨拶

成田 温 会長

先日、当クラブも理事会+パスト会長会で議論して見解を提出した「希望の風推進委員会」設置の可否に関わる回答が寺嶋ガバナーより来ました。簡単に会員皆様にご報告いたします。それによりますと、反対を表明したクラブは2クラブだそうです。成田クラブもその内の1クラブになります。ただし回答のあったクラブが何クラブあったかは記載がありません。反対理由は概ね3点です。

- 1、 事業開始に至る手続きが不明瞭
- 2、 今後の事業の継続性に疑義あり
- 3、 今後人頭分担金的な寄付の強要が懸念される。

以上3点に対する寺嶋ガバナーの見解は

1に関し、合意形成に十分な時間が無かった事はしょうがない。むしろ大きな事業規模を承知の上で始動した善意を賞賛すべきである。

2に関し、本奨学金制度が道半ばにして頓挫すれば社会的責任から観て、ロータリーにとって不名誉な事と思われます。目的の完遂に向けてロータリーが協力し努力する事は、決して無駄な労力であるとは思われない。

3に関し、震災の記憶を風化させない為にも、毎年善意の寄付のお願いを続けるとの結論に至った。



したがいまして「希望の風推進委員会」設置に反対する意見は少数であると判断し、委員会を継続し、事業を推進したいと考え、皆様にご理解とご協力をお願いするとの報告です。

1、2、は当クラブの意見ですが、当クラブとしましては地区の結論が多数決で事業を推進するとの決定であるならば、諸岡ガバナーノミニニーの立場もありますので協力は惜しまないと寺嶋ガバナーには伝えてありましたので、当クラブもこの件は協力していくと言う事をご承知ください。

◇ 幹事報告

長原 正夫 幹事

【回覧】

- ・例会変更 多古、富里ロータリークラブ
- ・週報 佐原、多古ロータリークラブ
- ・国際交流協会 NEWSLETTER No.219
- ・「希望の風推進委員会」設置の可否に関わる報告
- ・ロータリー平和フェロシップニュースレター第1号
- ・茂原東ロータリークラブ 幹事変更のお知らせ
- ・第1回女性交流会のご案内
- ・「第2回インターアクト合同会議」のご案内
- ・出席免除承認の件 日暮 俊久会員（第12条第3節） 承認
- ・旅行倶楽部設立 会長 飯田会員、副会長 喜久川会員 承認



【連絡】

- ・例会の確認
9月15日 納涼例会（ANA クラウンプラザホテル 18:30点鐘） 9/8 最終締切り
9月22日 夜間例会（成田ビューホテル 18:30点鐘）
- ・第9分区ゴルフ大会 参加者が少ないため、出席できる方はよろしくお願ひします。

◇ 卓話

～～ 自己紹介 ～～



藤崎 礼子／三桜商事（株）代表取締役

みなさまこんにちは、藤崎礼子と申します。今日は卓話の担当ということで、本当はもっと先に行ってからだろうと高を括っていたのですが、今日ということで、自分でも意外なくらい緊張しております。今年の1月13日に入会式を行っていただきました。今日は自分の事をお話いたします。こんなお話をするのは初めてなんですけれども、いい機会ですので、振り返っていろいろ書いて

みましたので、そちらのほうお話ししながら進めていきたいと思ひます。途中、不適切な表現が混じると思うのですが、ご容赦いただきまして、今日は皆様の胸を借りて、私のこれまでの人生のお話をさせていただきます。

○出生・幼児期

私は成田市取香に3人兄弟の末っ子長女として生まれました。生家は現在、ホリデイイン東武ホテルが建っている所であり、ホテルの建設時に今の県道沿いの家へ引っ越しました。小学校に上がるまでは、ほとんどの時間を母の実家である成田市和田の伯父さんのところで育てられました。多分、母にとってその方が安心だったのだと思います。伯父さん伯母さんは自分達の子供と同じように可愛がって育ててくれました。和田のお友達と和田のお寺の境内や田んぼや畑や山で遊んだ記憶があります。成田幼稚園へも和田からよく通っていました。

○遠山小・遠山中

小学校時代は、小さくて細くて幼稚でランドセルがとても重かった。1年間はバスが通っていなかったのので約4kmの道のりを上級生達と歩いて通いました。途中の駒井野にある農家のおうちに寄って水を飲ませてもらうという習慣になっており、喉が渴いていなくても、その家に寄って「お水飲ませてくださーい」と言って一服入れてから登下校していました。学級委員長や生徒会などにも入っていましたが、休み時間になると校庭へ飛び出して行ってドッジボールや捕まえっこなど、男の子と一緒に遊んでいました。当時、先生も匙を投げた悪くてませたガキ大将が居て、クラスの男子は全員怖がって服従していました。テストはズルをするし暴力は振るう男の子を何とかしなきゃいけないと考え、他の嫌々子分になっている男子と密かに結託しておいて、私が正すからその時は加勢することになっていましたが、いざその時になると誰も助けてくれずに1対1で取っ組み合って負けました。その後、なぜかその子とは仲良くなりました。放課後のホームルームで黙とうする時間がありましたが、スカートをまくったりする憎たらしい男の子を懲らしめたい一心で「先生！川名君が黙とうしないで目を開けていました！」なんて得意げに告げ口をして恥をかいたりしていました。

中学校では体操部に入り、床運動や平均台、跳馬などの練習に明け暮れていました。女子部は当時強かったので練習も厳しく、県大会の補欠に選ばれたりしました。陸上部はありませんでしたが、体育の時間に先生が見繕ったにわか陸上部員に大会用の練習をさせて大会に出場させていました。その時初めて高跳びの背面飛びを特訓させられて出場し、練習で一度も飛べなかった高さを飛んで郡大会で優勝しました。体育の先生は体操部の顧問だったので、跳馬の練習でロイター版を蹴り上げた時にもっと足を上げるように腿の表側を剣道の竹刀でたたかれ、背面飛びでバーをクリアしている時に腿の裏側を竹刀でたたかれ、足は痣だらけでした。今こんな事したら大きな問題になりますが、昔はどこの部もこんな具合の時代だったと思います。

○ハイティーン

高校は成田高校。今はありませんが共学クラスというのが男子校舎に各学年1クラスずつありました。E組が附属中学校から、私の居たD組は近隣中学校から受験してきた生徒でした。進学クラスとされていましたが、勉強はあまりせず、アルバイトばかりしてしまし

た。春休み、夏休み、冬休み、日曜、祭日はホリデイインホテルでフロントとコック以外の現場は全て働きました。果てしなく続くベッドメイキング、飽きても辞めるわけにはいかない客室の洗面所トイレ掃除、日のいい日に同じ宴会場で3回こなす結婚式の披露宴のどんでん返しとセットアップ。和食堂の配膳係やコーヒーショップのウエイトレスなど。校則ではアルバイトは禁止されていましたが、当時は父が経営していたので親のお手伝いということで。一応進学クラスで、大学を受験しないのは珍しかったのですが、英語だけは好きだったので外国語の専門学校へ進学しました。

○20代・呑気なOL

成田空港でグランドホステスとして勤務。当時、田中角栄が中国との国交を結んだために、ナショナルフラッグキャリアである日本航空が JAL 日の丸のマークの付いた飛行機を台湾へは飛ばせないために、100%JAL 出資の日本アジア航空として運行しました。シンガポール航空のグランド業務も請け負っていたので台北、高雄、香港、シンガポール、ロサンゼルス便のチェックインや地上業務をしていました。今の J スカイの 0 期生となります。空港での OL 時代はまるで海外旅行をするための資金を稼ぐために働いていたようなものでした。一人で海外旅行をする解放感とドキドキ感とやり通せた時の高揚感が癖になり、よく出掛けました。観光名所もいいですが、私の場合はその土地の人たちと同じような経験を持ちたいと思うほうで、市内をバスに乗ったり鉄道に乗ったり歩いたりするのが楽しかったです。ただ東洋人の女が一人でうろうろしていると危ないので、毎晩ホテルルームで明日の行動手順と道順をしっかりと頭に入れておいて、翌日は地図など出さずにまるでこの土地で暮らしているように、知ったかぶって、でもさっさと速足で行動するようにしていました。大体どこでも一晩だけドレスアップをして予約無しでは入れないちょっと高級なレストランへ行くのも目的の一つでした。そんな夜にサンフランシスコで信号待ちをしていたら、一台の車がすーっと寄ってきて「How much?」と聞かれてぎょっとしました。空港勤務時代は日本航空の桜ラウンジでも働きました。ワンピースの前と後ろに大きな鶴がプリントされていました。桜ラウンジは JAL のファーストクラスのお客様が出発前にくつろぐラウンジ。30 年前の JAL のファーストクラスのお客様は本当にファーストクラスの方々に、ラウンジホステスはひざまずいてサービスするマニュアル。その後は日本航空成田空港支店の業務室勤務。この期間が一番長かったです。私の課は HH と呼ばれる旅客機に搭載する全ての物品のアレンジとその会計をするところ。メニューの決定では路線ごとのファースト、ビジネス、エコノミークラスの食事が TFK さんとのプレゼンテーションルームに一同に披露されてミーティングを開いて決定するのですが、その時には普段食べることの出来ない高級食材やコース料理をテイasting出来るのでとても楽しみでした。新聞、雑誌などの搭載の決定では発売 1 日前の週刊誌を閲覧と称して仕事中に回し読み、日本航空に批判的な記事が書かれている雑誌の搭載を中止したりしました。また、成田から出る首相フライトのアレンジや同行の際はみんなピリピリしていたのを覚えています。このころは JAL も世の中のイケイケどんでん、飲み会や歓送迎会などが頻繁で、ゴルフ同好会が発足されてゴルフを始めるようになりました。相変わらず有給を駆使して海外旅行も楽しんでいました。

○30代・絶望

仕事は面白く、飲み会もゴルフもパーティーも何でも付き合いよく楽しんで元気に勤めていましたが、何の影響か年回りかホルモンのせいかわかりませんが、左足が動かなくなっていました。最初はちょっと引きずる程度で、なんだろうな運動のし過ぎかな、と水を抜いてみたりしましたが、どんどん悪くなるばかり。通院したり早引けしたりで会社に迷惑がかかると思い退職を決心しました。成田、千葉、東京、最後は神奈川の整形外科まで、多分、人の一生分の病院通いとお薬をもらいました。リウマチでしょうとかベイチェット病ですとか免疫障害ですとか。一向に良くならず象の足のようになって曲がらなくなっていました。もう、これで人生終わったなと思いました。当時はドリフターズの「8時だよ全員集合」が一世を風靡していましたが、全く笑わない時を過ごしていました。これでこのまま症状が止まったら、畳の上で出来るマッサージ師になるかなと考えたりもしました。そして、最後に秋田の玉川温泉へ。それまで通ったいくつもの病院の診察券とバケツいっぱいもあるお薬を自宅の焼却炉に捨てて、これでダメだったら諦めようと思っていました。日本で一番酸の強い温泉で、その岩盤からはラジウム放射能が出ているという、癌の末期、医者に見放された者が最後に辿り着く奇跡の温泉と言われている玉川温泉へ。12月、1月、2月の玉川は雪が4メートルも積もっていて、雪上車に乗って行く湯治場。今現在の玉川は数年前の雪崩崩落事故により冬場は閉鎖されていて営業していません。世の中が慌ただしくなってきた12月。左足は靴下にサンダル、右足はブーツを履いて、みじめな格好と沈んだ気持ちを少しでも払拭させたくて大見栄張ってミンクの毛皮を羽織って新幹線に乗りました。どうなっちゃうのかなあ、治るんだろうかなあ、どんなところだろうなあ。今でもそうですが、当時から全国に玉川の信者がいます。私が湯治していた時も真冬の時期にも関わらず、まあ、真冬だから病人しかいないのですが、京都、大阪、静岡から北海道、青森、もちろん東北、都内、横浜からの人たちがいました。毎日午前と午後2回ずつお風呂へ。お湯は強酸性で目に入るとしばらく痛くて目を開けられないし、体の柔らかい所はしみてきてしみてきて痛くて動けません。午前中にはお山を15分位登ってラジウム放射能の岩盤へ。今は連絡道も岩盤浴場もきれいに整備されていますが、当時はお山の上にテントがあるだけでした。そこへ長靴を履いて、左手に御座、右手に毛布を抱えて。テントの中にはいつも何名か先客が。適当に平らそうな岩盤の隙間に御座を引き、そこで服を脱いで毛布を掛けた中で素っ裸になる。あとはころころと体の向きを変えながら岩盤に治療してもらいました。同じ姿勢で長くいると低温やけどになってしまう。頭の腫瘍を当てたり、癌の場所を当てたり、みんな思い思い無言で横になっていました。ねっとりとした汗が出てくる。そしてまた宿に戻ってお風呂へ。冬の湯治場、お部屋にはテレビは無いし新聞も来ないので、みんなロビーに集まってきて、あちこちで血糖値を測ったり、自分の病気の話をしたりしていました。私は内臓が悪いわけでも食事制限があるわけでもないのに、毎日、飲みたくても飲めない人たちを尻目に、酒でも飲まなきゃやってられないと晩酌を付けていました。それに病人の中では一番若かったのもあって、いつしか玉川のマドンナと呼ばれるようになっていました。ところで、お風呂は蒸気の出るお風呂やサウナ、釜風呂や寝湯、打たせ湯と源泉がある大風呂と小さな女湯がありました。今は女湯も大きなお風呂になりましたが、そこで一番いい泉質のお風呂は大風呂の男湯でした。でも女が入ってもいいのだが、女性で入る人は一人もいませんでした。私

は病気を治しに来ているのに一番泉質がいいとされているお風呂に入らなきゃ来た甲斐がないと、その男湯というか混浴に入っていました。そうしたら、だんだん藤崎が混浴に入っているというのが浸透してきて「藤崎さん、次は何時にお風呂へ行くの？」と聞かれ、私がお風呂に入るとみんな入ってきて、私がお風呂に入っていない時は誰も入らなくなっていました。お風呂は酸が強くて何度も入っていると皮膚が真っ黒に灼けてきて、女性の粘膜の部分も大変なことになります。もしこの病気が治っても、もう二度と男の人に裸は見せられないな、と思っていました。それで奇跡は起こりました。玉川に着いた時には部屋までの階段をよじ登っていたのに、駆け足で上り下りできるようになりました。一体何だったんだろう。3か月弱かかりました。

○40代・父の会社へ

成田空港商事も三桜商事もオーナー会社ではありませんが、当時父が社長でした。私はリハビリのつもりで、父の会社ならば体調が悪い時はお休みをしたり早退したりとわがままがきくかな、そしてまた、空港にお勤め出来ればいいかなと思い入社しました。成田空港商事は大栄町に約500平米（1階2階）のクリーニング工場があり、ホテル、ゴルフ場、レストランなどのリネン品のクリーニングと大手リネンサプライヤー、白洋舎、共同リネン、協和リネン会社の下請けで、成田空港の第一と第二ターミナルには物販店を営業していました。社員はパートさん、外国人を含めて約70名ほどでした。三桜商事は千葉の幸町に貸しビルを1棟と第一ターミナルに洋食レストランを営業していました。空港の商売は成田空港が開港以来営業しています。そんな会社にちょっと体慣らしのつもりで入社しましたが、だんだん会社のことが、やっていることがわかってくると、なんだ！？この会社は！？こんな会社は世の中にあってはならないと思いました。そして私が世の中にあってもいい会社にしなければ、と思いました。そこからは父と会社の幹部たちと戦争です。正義感と従業員に報いたいという思いだけで、とにかくがむしゃらに戦争しました。平成14年と15年にそれぞれの会社の代表になりました。父を脅して代表に。父子の間ながら念書や覚え書きを何通も作成しました。オーナー会社ではないので、毎年株主総会を開いて父と幹部と株主数十名を相手に戦争。父は4年前に他界しましたが最後まで和解することはありませんでした。私が代表になると、父とその家族は銀行からの借入金やリース契約等の保証人、連帯保証人を抜きました。銀行の支店長がお出でになって、礼子社長、土地とか何か不動産とかお持ちなんでしょう？と聞かれました。住宅ローンは75歳まで、おうちの地べたは父の物です。私が担保じゃいけませんか？なんて、今思えば恥ずかしくて恐ろしい事を言っていました。そんなだから引き継ぎゼロ、申し送りゼロでしたが、従業員さんがついてきてくれました。私が代表になってからやってきたことは、時系列に、クリーニング事業の廃業、2ビル売店の撤退、1ビル洋食レストランの閉店、中華レストランの新規開店、1ビル売店の撤退、中華レストランの閉店、1ビル5階でのフードコート中華店新規開店。今は自分の能力と身の丈に合った商売を地道にやっています。

○50代・今

これまで起こってきたことは、結婚も離婚も含めて、また、OL時代や病気、そして父との確執、すべてが私にとって必要なことだったと思っています。それまでの生き方を変えてしまう何度かの経験を通して、いつでも、どこでも、毎日、精一杯生きるようになりました。人に親切にするのも、優しくするのも、褒めるのも、食事の後片付けも、お洗濯も、明日は出来ないかもしれない、と思って生きるようになりました。愛情もお金も出し惜しみしない人生を目指すようになりました。父との戦争を始めたころから、心が求めて、中国古典や易経、言志四録などを読むようになり、倫理、道德の勉強に慣れ親しんでいます。まだまだ、多分死ぬまでそんな境地にはなれないと思いますが、肉体的動作行動においても精神的な苦痛においても経済的損失でも、自己犠牲が幸せ、と感じる人間に近づきたいと思っています。そんなふうに考えているのに、父を許せないのはおかしいでしょう、人として正しくないでしょう、という思いと葛藤している毎日です。

○3年前の世界一周

ところで、私は3年前の年末年始の1か月間、母と二人で世界一周の旅をしました。母も海外旅行が大好きで時々親子2代、3代で出かけていましたが、多分これがラストチャンスだろうと、大変元気だけれど84歳だった母との海外旅行はこれが最後かもしれないと考えて、約1年間の構想と準備期間を使って実行しました。成田からシンガポール、シンガポールからパリ、パリからはミュンヘンで乗り継ぎブダペストへ、そのあとはチューリッヒで乗り継いでベネチアへ、フランクフルトで乗り継いでニューヨークへ、そしてサンフランシスコ、ホノルル、成田へ。どこの都市も3から4泊の滞在期間をとって、疲れちゃったり体調がすぐれなければホテルルームで休んだり。実際、ベネチアでは土地のインフルエンザにかかり緊急入院を一日したりして慌てました。でも、本人はその症状以外のすべての健康診断の数値がベリーグッド、アンビリーバブルだとイタリアの若い青年医者に言われて気を良くしていました。さて、皆さん、世界一周航空券という商品があるのを御存じですか。航空会社のグループ、スターアライアンス、ワンワールド、スカイチームなどのグループによって少しづつ条件やルールが違いますが、旅行期間は約二週間以上一年以内で太平洋と大西洋を渡れば、世界一周航空券という商品名になり、20か国を回っても2つの都市を回っても2週間かけても1年かけても料金は同じ、どこで買っても同じ料金、年末年始もゴールデンウィークもお盆も同一料金。しかも安い。エコノミーで40万円位、ビジネスクラスでも70万円位、あの憧れのファーストクラスで世界一周をしても航空券代は100万円位で行けてしまいます。東京からロンドンまでのビジネスクラスの往復航空券で数十万円すると思いますが、これを2週間にして東京、ロンドン、ニューヨーク、東京にしたらこちらのほうが安いかもしれません。もちろん、ニューヨークからロサンゼルス、ホノルル経由で帰っても料金は同じです。出発前にすべてのルートを決めることや逆方向へは行けないとかいう条件はありますが。でも、1年間有効でフライトの変更は手数料はかかるが出来るので、旅の途中、例えばイスタンブールにいる時に日本で急用が発生した場合は、イスタンブールの旅行会社でイスタンブール、東京、イスタンブールの航空券を買って日本に帰り、予定を済ましてまたトルコへ渡り、世界一周の続き

をすれば良いのです。ぜひ皆さんも計画してみませんか。私は、今世の中にある商品の中でこれが一番お得な商品だと思っています。お手伝いします。旅費を払って下さったら同行して精一杯ご案内いたします。

殺伐とした個所も多々ありましたが、本日はご視聴ありがとうございました。

◇ 点 鐘 成田 温 会長

※理事会議事録訂正

・先週の週報、最終ページ9、10月の例会及び事業、行事計画の中で、10月23日（月）地区ゴルフ大会プレー代20,000円各自清算とありますが、クラブ負担の間違いです。

出席表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
72	69	48	21	69.57%	84.06%

MAKE UP CARD

氏 名	月 日	ク ラ ブ 名
香取 竜也、喜久川 登、橘 昌孝、笠原 智、小川 賢 各会員	8月25日	出席奨励委員会
喜久川 登 会員	8月25日	臨時理事会、パト会長会合同会議
喜久川 登 会員	8月26日	第11回成田ロータリークラブ杯 中学校剣道大会
諸岡 靖彦、橘 昌孝、小寺 真澄 各会員	8月26日	インターアクト年次大会
諸岡 靖彦、石橋 正二郎 各会員	8月26日	地区米山記念奨学委員長セミナー
諸岡 靖彦 会員	8月29日	ガバナー公式訪問印西、白井合同 例会
諸岡 靖彦 会員	9月2日	第16期ロータリー 平和フェローオリエンテーション
諸岡 靖彦、平山 秀樹 各会員	9月6日	寺嶋ガバナー公式訪問八街・富里 2クラブ合同例会
諸岡 靖彦、石橋 菊太郎、佐瀬 和年、深堀 伸之 設楽 正行、神崎 誠、橘 昌孝、成田 温、長原 正夫、 平山 秀樹、小宮山 四郎、矢島 紀昭、遠藤 英一、 渡辺 孝、小川 賢、平野 省二、喜久川 登 各会員	9月8日	顧問会議
齊藤 三智夫 会員	9月10日	R L I 推進委員会 第3回R L I 推進委員会会議
喜久川 登 会員	9月11日	米子南ロータリークラブ
成田 温、深堀 伸之、堀口 路加、石橋 菊太郎 渡辺 孝、橘 昌孝、松田 泰長、甲田 直弘、松本 大樹 桜井 誠、芦谷 源一 各会員	9月13日	職業奉仕委員会

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700
成田ビューホテル内
電話/FAX 0476-33-8786

例会場 成田ビューホテル
電話 0476-32-1111
例会日 金曜日 12:30
例会出欠連絡先(直通)
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078